

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	SF クイックコンディショナー
整理番号	08874K9025,, 08874K9026, 08874K9027
販売会社名	株式会社 バンザイ
住所	〒105-8580 東京都港区芝 2-31-19
担当部門	調達部
電話番号	03-3769-6806
F A X 番号	03-3453-9036
製造会社名	株式会社 BTO
住 所	〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東 5-2-19
担当部門	商品企画部
電話番号	06-6302-5711
F A X 番号	06-6302-5712


2. 危険有害性の要約

< GHS 分類 >

物理化学的危険性	： 引火性液体	： 区分外
健康に対する有害性	： 急性毒性（経口）	： 区分外
	急性毒性（経皮）	： 区分外
	皮膚腐食性／刺激性	： 区分外
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	： 区分外
	生殖細胞変異原性	： 区分外
	発がん性	： 区分 2
	生殖毒性	： 区分 1 A
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	： 区分外
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	： 区分 2

※上記で記載が無いものは、分類対象外または分類できない

< ラベル要素 >

絵表記	：	
注意喚起語	：	危険
危険有害性情報	：	発がんのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（肝臓）

< 注意書き >

- ・安全対策：使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。使用後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。指定された個人用保護具を使用すること。
- ・救急措置：暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・保管：涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。
- ・廃棄：内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有率 (%)	化審法番号	CAS No.
シリコーン	非公開	あり	あり
界面活性剤	非公開	あり	あり
グリコール系溶剤	非公開	あり	あり
エタノール	1-10	(2)-202	64-17-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。必要があれば人工呼吸または酸素吸入等を行い、安静保温につとめ医療措置を受ける手配をする
- 皮膚に付着した場合 : すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
- 飲み込んだ場合 : 水で口内を洗い(その人の意識がある場合のみ)、嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させ、直ちに医師の診断を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 救急者は、保護具を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 医師の診断を受ける際、このSDSを示す。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡、噴霧水、乾燥砂、粉末。
- 特定の消火方法 : 移動可能な場合は、速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。
- 着火した場合 : 火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて風上から消火。
- 消火を行う者の保護 : 火災により有毒ガスやヒュームが発生する可能性があるため、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業者は保護具を着用し、風上で作業する。屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
- 除去方法 : 漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。
- 二次災害防止策 : 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

<取扱い>

容器は注意して取扱い、開ける。使用時には飲食をしない。皮膚や眼との接触を避ける。眼と接触した場合は、直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水で洗う。全ての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。

技術的対策 : 換気のよい区域で使用し、取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。取り

扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備を設け、その位置を表示する。
 適当な保護衣及び保護具を着用する。

- 注意事項 : 取扱いは換気のよい場所で行う。
 安全取扱い注意事項 : 接触やガスの吸入を防止するため、適切な保護具を着用する。
 <保管>
 適切な保管条件 : 熱源や着火源から離し、容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
 適切な排気装置を使用する。
 管理濃度 : 1000ppm(アルコール)
 許容濃度 : A C G I H (1996 年度版) TLV-TWA 1000ppm(アルコール)

<保護具>

- 呼吸器の保護具 : 状況に応じて防塵マスク、防毒マスク等を着用する。
 手の保護具 : 不浸透性手袋。
 目の保護具 : 保護眼鏡(ゴーグル型)または保護面(防災面)。
 皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 乳白色液体
 比重 : 約 1.0 (25℃)
 PH : 約 6
 引火点 : データなし
 沸点 : データなし
 発火点 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の手扱いにおいて安定。
 危険有害反応可能性 : 燃焼により、CO等の有害ガスを発生する恐れがある。
 避けるべき条件 : 加熱および火気、直射日光、0℃以下。
 混触危険物質 : データなし
 危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

製品としてのデータなし

アルコール 100%としての情報

- 急性毒性 : 経口 ヒトLDL0 1,400mg/kg 行動、胃腸(吐気) 1)
 経口 ラット : LD50 7,060mg/kg 呼吸器系 1)
 経口 ヒト(男) : TDL0 700mg/kg 行動(精神生理学上) 1)
 吸入 ラット : LC50 20,000ppm/10h 毒性未評価 1)
 皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚 ラビット : 400mg 開放 症状(軽度) 1)
 皮膚 ラビット : 500mg/24h 症状(重度) 1)
 眼に対する重篤な
 損傷性・刺激性 : OECD TG405及びDraize testに従った試験により「moderate」と分類されている。
 ヒトで角膜上皮の傷害、結膜充血は1、2日間で回復する。
 ラビット : 100mg/24h 症状(中度) 1)
 呼吸器感作性 : 情報なし
 皮膚感作性 : 動物試験で有意の皮膚感作性は見られない。 , 8) 9) 11)
 生殖細胞変異原性 : ラット及びマウスにおける優勢致死の報告及びマウス生殖細胞における異

	数性誘発報告がある。10)11)
発がん性	I ARCでは「アルコール性飲料としてヒトに発がん性がある」としてグループ1に分類しているが、これはアルコール性飲料を習慣的に摂取するヒトの多数の疫学調査に基づき、アルコール性飲料と食道系及び肝臓のがんの因果関係を認めたものである 8)。他方、ACGIHは、主として作業環境での有害性因子としてエタノールをA4（ヒト発がん性に分類できない物質）に分類している 28)。
生殖毒性	経口 マウス : TD L0 320mg/kg/50週 毒性未評価1) アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。8) 吸入 ラット : TCL0 20,000ppm/7h, 妊娠, 1~22日 発育異常1) 経口 ラット : TD L0 44g/kg, 妊娠, 7~17日 発育異常1)
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ、急性中毒の場合は死に至ることがある。 ヒトで5,000ppm (9.4mg/L) の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす。
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る。 アルコール中毒患者の禁断症状 (振戦症状、てんかん、精神錯乱)
吸引性呼吸器有害性	データなし
略記の説明	TCL0 ; Toxic Concentration Low. 報告されている毒性の最低の濃度 TD L0 ; Toxic Dose Low. 報告されている毒性を示す最低の量 LC50 ; Lethal Concentration Fifty. 一定時間で対象集団の50%が死亡すると推定される濃度 LD L0 ; Lethal Dose Low. 報告された最低の致死量 LD50 ; Lethal Dose Fifty. 被検集団の50%が死亡すると推定される採取量

1 2. 環境影響情報

製品としてのデータがなく、混合物として区分した。

アルコール

分解性	理論酸素要求量 (ThOD) : 2.10 1) BOD5 理論酸素要求量の44~80% 1) COD 理論酸素要求量の90~100% 1) バクテリア硝化能の抑制 4,100mg・L でニトロソモナス種のアンモニア酸化の50%抑制 1)
生態毒性	マスの幼魚 : LC50 11.2g/L・24h 1) コイの一種 : LC50 18~13.4g/L・96h 1) クリークチャブ : LC50 7g/L・24h 1) グッピー : LC50 11g/L・7日 1)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連分類	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
特定の安全対策及び条件	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
海上規制情報	国際規制：IMOの規定に従う（非危険物） 国内規制：船舶安全法の規定に従う（非危険物）
航空規制情報	国際規制：ICAO/IATAの規定に従う（非危険物） 国内規制：航空法の規定に従う（非危険物）

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物および有害物（法第57条の1）

エタノール

名称等を通知すべき危険物および有害物（法第57条の2）

エタノール

特定化学物質障害予防規則 該当せず

PRT法 : 該当しない

消防法 : 該当しない

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

16. その他の情報

参考文献／資料 : GHS対応モデルMSDS情報（安全衛生情報センター）
化学物質総合情報提供システム（nite:製品評価技術基盤機構）
各種法令集、その他

本データシートは、一般的な工業的用途について、製品の適切な取扱いを確保するための参考情報として提供するものです。現時点で弊社が入手可能な資料並びに測定等に基づき作成したもので、記載の数値等について、いかなる保証をするものではありません。これを参考として、個々のご使用者様において実態に応じた安全かつ適切な措置をお取り下さるようお願い致します。

また、特別な取扱をされる場合につきましては、新たに適切な安全対策を実施のうえ、お取り扱いをお願いします。

1) 財団法人バイオインダストリー協会：アルコールハンドブック第9版（1997）

2) 社団法人日本化学会編：化学便覧（改訂4版）、丸善（1993）

3) 化学工業日報社：13700の化学商品。

4) 化学工業日報社：国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版第3集（1997）

5) 通産省公報（平成5年12月28日）

6) Verschuieren, K.: Handbook of Environmental Data on Organic Chemicals 4th ed., (2001)

7) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/0662.html>

8) DFGOT（1996）

9) ACGIH（2001）

10) DFGOT vol. 12（1999）

11) IARC vol. 144（1988）

12) ICSC（2000）

13) HSDB（2003）